

日本地衣学会 No.163 ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次

会務報告	633
日本地衣学会評議員会(2021年度)議事録/中嶋 裕之	633
日本地衣学会第20回大会総会(2021年12月11日, オンライン)報告 /中嶋 裕之	637
お知らせ	638
ニュースレター編集委員会からのお知らせ/坂東 誠	638

会務報告 *Reports of the JSL Activities*

日本地衣学会評議員会(2021年度)議事録

Report of the JSL Councilors' Meeting in 2021 / by NAKASHIMA Hiroyuki

>>>>>>> 中嶋 裕之: 前庶務幹事

日時:

- 第1回(メール): 2021(令和3)年6月20日(日)~28日(月)
- 第2回(メール): 2021(令和3)年9月21日(火)~30日(木)
- 第3回(メール): 2021(令和3)年10月15日(金)~22日(金)
- 第4回(オンライン): 2021(令和3)年12月11日(土)10:00~11:30

参加者(敬称略): (議長)木下 靖浩, (評議員)

木下 薫, 坂田 歩美, 原 光二郎, 河崎 衣美,
(会長)原田 浩, (役員)中嶋 裕之, 川上 寛子,
(編集委員長)小峰 正史

I. 2020年度事業報告

1. 会員数は, 2020年12月31日現在166名(一般115, 学生8, 海外一般25, 海外学生7, 有功1, 団体2, 名誉8)で前年度末より12名減少した。

2. 以下の報告が承認された。

(1) 主催大会, 観察会

①日本地衣学会第19回大会は, 川又明徳氏(愛媛県総合科学博物館)を大会委員長として, 愛媛県総合科学博物館(新居浜市)にて8月29日~30日に開催予定であったが, コロナウィルス感染状況を考慮すると, 通常の大大会は開催が困難であると判断した。そこで, オンライン大会並びにオンデマンドによる開催を検討したが, 現状では技術

的に困難と考えられ、第 19 回大会は中止とした。

- ②第 19 回学会主催観察会を長野県東御市・群馬県
嬭恋村の湯ノ丸高原他にて実施予定であったが、コ
ロナウィルス感染状況を考慮し中止とした。

(2) 総会

日本地衣学会 2020 年度総会を 2021 年 4 月
26 日～5 月 2 日、ウェブ総会の形式で開催した。
4 月 26 日の開会宣言より、2020 年 11 月 3 日～
11 月 17 日に開催された評議員会（メール会議）
での報告事項、審議事項、承認事項について上記期
間日本地衣学会ホームページに掲載することにより
報告した。事業報告・審議事項に一部不明な点があ
るとの指摘があり、該当部分を加筆修正し 5 月 1 日
に再掲載した。

(3) 学会誌等の発行

- ①学会誌 Lichenology：第 19 巻 1 号（2020 年
12 月 18 日）、2 号（2021 年 4 月 25 日）が発
行された。
②日本地衣学会ニュースレター：157 号を 3 月 5 日
に、158 号を 3 月 19 日にそれぞれホームページ
で公開した。

(4) 委員会の活動

- ①地域活性化委員会：第 43 回青空地衣教室の開催
は、コロナウィルス感染状況を考慮の上、中止した。
第 16 回秋田ワークショップの開催も上記理由で
中止した。

②学術交流委員会：

- ・自然史学会連合対応：分担金 20,000 円を支払
った。
- ・日本分類学会連合対応：総会及び公開シンポジ
ウム（1 月）に坂田歩美氏が出席した。分担金
10,000 円を支払った。
- ・日本菌学会対応：2020 年 6 月 19 日（金）～

21 日（日）に開催が予定されていた日本菌学会
第 64 回大会はコロナウィルス感染状況を考慮の
上中止となった。本学会員を中心に地衣類に関す
るシンポジウムが計画されていたが、次大会以降
に再計画される可能性あり。

- ・国際地衣学会（International Association for
Lichenology）：2020 年 8 月に開催が予定さ
れていた第 9 回国際地衣学会シンポジウム
（IAL9）は、コロナウィルス感染状況を考慮の
上、1 年延期となった。
- ・その他：植物学会についての対応は引き続き事務
局で検討する。

- ③ホームページ運営委員会：ウェブ上での総会開催や、
下記の DNA 情報の公開など、ホームページの新た
な利用を試みた。

- ④国際学会対応委員会：担当を検討中である。

- ⑤日本の地衣フロラ解明プロジェクト：図鑑改定の一
環として「日本地衣類誌」の執筆を検討し、チェッ
クリストの改定作業を進める。ウェブ図鑑は、千葉
県立中央博物館のデジタルミュージアムのコンテ
ンツとして①「海岸生地衣類」を 2020 年にアッ
プした。既に公開している②「房総の地衣類誌」、
③「日光の地衣類」とともに活用する形を検討する。
「日本産地衣類の DNA バーコーディングのため
のデータベース」の学会 HP 内における試験公開を
始めており（①に関連して）、更に整備を進めた。

II. 2020 年度決算報告・監査報告
報告は承認された。

III. 入・退会承認

入会および退会者について承認された。

IV. 2021 年度事業計画

1. 主催大会、観察会

(1) 日本地衣学会第 20 回大会（オンライン）が小峰正史大会委員長（秋田県立大学）によって、12 月 5 日～11 日に動画配信 Vimeo を利用したオンデマンド配信により開催された。

(2) 第 20 回学会主催観察会は湯の丸高原（長野県東御市・群馬県嬭恋村）にて実施予定であったが、コロナ禍のため中止した。

2. 印刷物発行

(1) 学会誌 Lichenology（編集委員会）：第 20 巻 1 号（9 月予定）、2 号（2022 年 1 月予定）。

(2) 日本地衣学会ニュースレター（ニュースレター編集委員会）：ホームページで逐次公開（坂東誠氏）。

3. 委員会（各委員長）

(1) 地域活性化委員会（川又明德氏）

- ・第 44 回青空地衣教室の開催は、コロナウィルス感染状況を考慮の上、検討。
- ・第 17 回秋田ワークショップ（秋田県立大学）の開催は、コロナウィルス感染状況を考慮の上、中止。

(2) 学術交流委員会

- ・自然史学会連合：分担金 20,000 円は支払う予定。
- ・日本分類学会連合（坂田歩美氏）：1 月開催のシンポジウム及び総会に坂田歩美氏が出席予定。また、分担金 10,000 円を支払う予定。
- ・日本菌学会（原光二郎氏）：2021 年 8 月 23 日（月）～29 日（日）に第 65 回大会がオンラインで開催され、本学会員を中心に地衣類に関するシンポジウムが 8 月 29 日に行われる。
- ・その他：植物学会への対応については引き続き事

務局で検討する。

(3) ホームページ運営委員会（原光二郎氏）：学会誌・ニュースレターなどの過去および未掲載の情報を掲載し、常に最新情報が得られるように努める。

(4) 国際学会対応委員会：担当を検討中である。

(5) 日本の地衣フロア解明プロジェクト（原田浩氏）：図鑑改定の一環として「日本地衣類誌」の執筆を検討し、チェックリストの改定作業を進める。ウェブ図鑑は、千葉県立中央博物館のデジタルミュージアムのコンテンツとして①「海岸生地衣類」を 2020 年にアップした。既に公開している②「房縷の地衣類誌」、③「日光の地衣類」とともに活用する形を検討する。「日本産地衣類の DNA バーコーディングのためのデータベース」の学会 HP 内における試験公開を始めており（①に関連して）、更に整備を進めていく（原光二郎氏）。

4. 学会運営等

(1) 会員数

- ・2020 年 12 月 31 日：166 名（一般 115、学生 8、海外一般 25、海外学生 7、有功 1、団体 2、名誉 8）
- ・2021 年 12 月 11 日現在：171 名（一般 115、学生 13、海外一般 25、海外学生 7、有功 1、団体 2、名誉 8）

(2) ウィズコロナにおける活動：大会を中止する場合、学会の主要な活動の場が失われるため、何らかの情報交換等の機会を増やすなどの工夫の検討が必要。

V. 2021 年度予算案

本予算案は承認された。

VI. 審議事項

1. 各委員会等の課題等について（各委員長等）

(1) 日本地衣学会会則の一部変更を伴う銀行登録について（庶務幹事，会計幹事）

①「日本地衣学会会則」の変更

第18条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。事務局は庶務担当幹事が主宰する。本会の所在地を庶務担当幹事の住所とする。

(1)事務局（一般事務）は庶務担当幹事が主宰する。

(2)事務局（会計事務）は会計担当幹事が主宰する。

②「学会事務局についての内規」の変更

(2)事務局を下記次の場所に置く。

・事務局（一般事務）

〒830-8555

福岡県久留米市小森野 1-1-1

久留米工業高等専門学校

・事務局（会計事務）

〒010-0195

秋田県秋田市下新城中野字街道端西

241-438

秋田県立大学 生物資源科学部生物生産科学

科 植物資源創成システム研究室

(3)この内規は評議員会において過半数の同意を得て改定できる。

附則

2021年6月30日改正

(2) Paypal による支払いについて（庶務幹事，会計幹事）

Lichenology バックナンバー購入などを目的として海外からの送金がある。現在、海外からの銀行振り込みが困難なケースが多発しているため、クレジットカード決済が可能なシステムとして Paypal を導入した。また Paypal の受け皿と

なる銀行口座としてみずほ銀行の普通口座を新たに開設した。原則として、Paypal は海外からの送金目的以外には使用しないが、大会の会費支払いにも今後使用できるよう、使用方法を検討していきたい。

2. 来年度以降の大会，観察会について

(1) 第21回日本地衣学会大会について

通常の形式での開催ができるか不透明であるため、オンライン大会での開催が望ましいのではないかと、その方向で検討を進める。

ただし、以下の開催候補地であった愛媛県の川又明德氏より、開催可能となった場合には第21回開催を引き受けていただけるとの意向を確認できたため、愛媛での開催を優先させることとなった。

※第19回日本地衣学会大会（開催候補）

会期：8月または9月

会場：愛媛県総合科学博物館

大会準備委員長：川又明德氏（地域活性化委員会委員長，中国・四国地域）

(2) ウィズコロナにおける活動：大会を中止する場合、学会の主要な活動の場が失われるため、何らかの情報交換等の機会を増やすなどの工夫の検討が必要。

3. 次期会長及び評議員選挙について

(1) 実施日程（予定を含む）

・9月30日：選挙管理委員会の設置（委員長，委員の指名：会長）

・10月9日：最新名簿，会長立候補用紙送付（事務局）

・10月22日：会長立候補受付締切（委員会）

・11月1日：会長選挙投票用紙の送付（事務局）

・11月15日，16日：会長選挙投票締切，翌日開票（委員会）

- 次期会長決定後：幹事，編集委員長の指名（次期会長）
- 12月3日：評議員選挙投票用紙の送付（事務局）
- 12月20日，21日：評議員選挙投票締切，翌日開票（委員会）
- 12月末日：追加評議員，議長，監事選出（次期評議員会）

(2) 会長選挙結果の報告 2021年11月16日

「役員等の選出についての細則」に基づき，出川洋介選挙管理委員長のもと行われました。

会長候補者（10月22日推薦締切）は，評議員会からの推薦者 木下薫氏（明治薬大）の1人でしたので，信任投票（11月15日締切）を行いました。

11月16日（火），開票作業を行い，得票数の集計が厳正に行われ，下記の結果となり，木下薫氏が次期会長に選出されました。

投票総数：67票

信任：67票

不信任：0票

無効：1票

選挙管理委員会：出川洋介委員長，松崎務委員

立会人：吉橋佑馬氏，須川元氏

(3) 次期役員の名指 2021年11月30日

木下薫次期会長により，次期役員が下記のように指名されました（敬称略）。

- 庶務幹事：坂田歩美
- 会計幹事：川上寛子（任期は2021年から2022年のため，変更なし）
- 編集委員長：綿貫攻

VII. その他

1. Lichenologyの保管場所について

- Lichenologyの保管場所について評議員会等で検討していく。

日本地衣学会第20回大会総会（2021年12月11日，オンライン）報告

Report of the General Meeting at 20th Annual Meeting of the Japanese Society for Lichenology (Online, 11 December 2021) / by NAKASHIMA Hiroyuki

>>>>>>> 中嶋 裕之：前庶務幹事

日本地衣学会第20回大会総会を2021年12月11日，オンラインにて開催いたしました。原田浩会長より挨拶があり，引き続き中嶋裕之庶務幹事が当日を含め今年度中に開催された4回の評議員会での報告事

項，審議事項，承認事項について報告いたしました。皆様のご協力を得まして，滞りなく総会を終了することができました。

ニュースレター編集委員会からのお知らせ

From Editorial Board of the JSL Newsletter / by BANDO Makoto

>>>>>>> 坂東 誠 : ニュースレター編集委員長

会務報告記事の掲載順序についてのお知らせ

ニュースレターの会務報告記事は、できる限り、その報告内容が早く実施されたものから順番に掲載するのが望ましいのですが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行の影響により、直近の日本地衣学会大会・総会・評議員会・会長選挙・評議員選挙・新会長就任・新役員就任・新評議員就任・事務局移転などが2021年12月前後に集中したため、これらに関する会務報告記事の作成は現在、報告内容が早く実施

された順番通りに進んでおりません。そのため、これらに関する会務報告記事のニュースレター掲載順序の一部が、報告内容が早く実施された順番通りでなくなる見込みです。読者にはご不便をおかけしますが、予めご了承くださいませようお願いいたします。

* * *

【注】2022年1月に会長・幹事・評議員などの交代や事務局の移転などが行われましたが、これらに関しては後日、ニュースレターの記事のなかで紹介する予定です。

◆原稿募集

本誌は、会員からの原稿を随時募集しています。地衣類にまつわるエピソード、思い出、あるいは地衣類に関する写真とタイトル、簡単な説明文だけでも受け付けます。電子メールにて次のアドレス宛に投稿御願います：
bandomakoto@aa6.mopera.ne.jp（坂東 誠）

●複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体からの許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会。

Tel: 03-3475-5618. Fax: 03-3475-5619. E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA.
Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the Japanese Society for Lichenology.

Except in the U.S.A.: Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC).
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052
Japan. Tel: 81-3-3475-5618. Fax: 81-3-3475-5619.
E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

In the U.S.A.: Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA. Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744.

●*Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 163, pp. 633-638: eds. Bando M., Kawasaki E., Tanaka K., published by the Japanese Society for Lichenology, 10 Feb. 2022.

日本地衣学会ニュースレター163号

発行日：2022年2月10日

編集：坂東誠・河崎衣美・田中慶太

発行者・発行所：日本地衣学会

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2

千葉県立中央博物館内
